



住宅の種類

持ち家世帯の比率は、全国平均を上回る

平成25年の奈良県の持ち家世帯の比率は、73.9%で全国平均を上回っています。

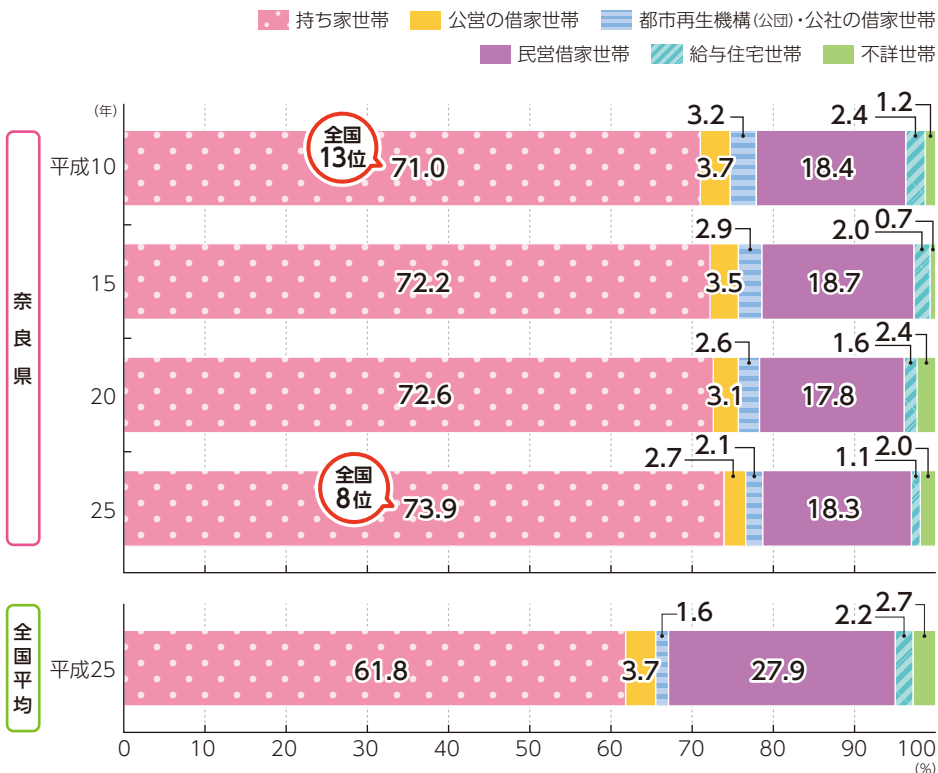
奈良県の総世帯数53万200世帯のうち、持ち家が39万1,700世帯と最も多く、総世帯数に占める割合は73.9%となり、次いで民営借家9万6,800世帯(18.3%)、公営の借家1万4,200世帯(2.7%)、都市再生機構・公社の借家1万1,100世帯(2.1%)、給与住宅5,600世帯(1.1%)となっています。

持ち家世帯の比率は、平成10年の71.0%(全国13位)から平成25年の73.9%(同8位)へ増加しており、平成25年は、全国平均の61.8%に比べ12.1ポイント上回っています。

- 給与住宅…社宅、公務員住宅のように会社、団体、官公庁などが所有又は管理して、その職員を職務の都合上又は給与の一部として居住させている住宅

住宅の種類別の割合の推移

資料:総務省統計局「住宅・土地統計調査」





1住宅当たり居住室数

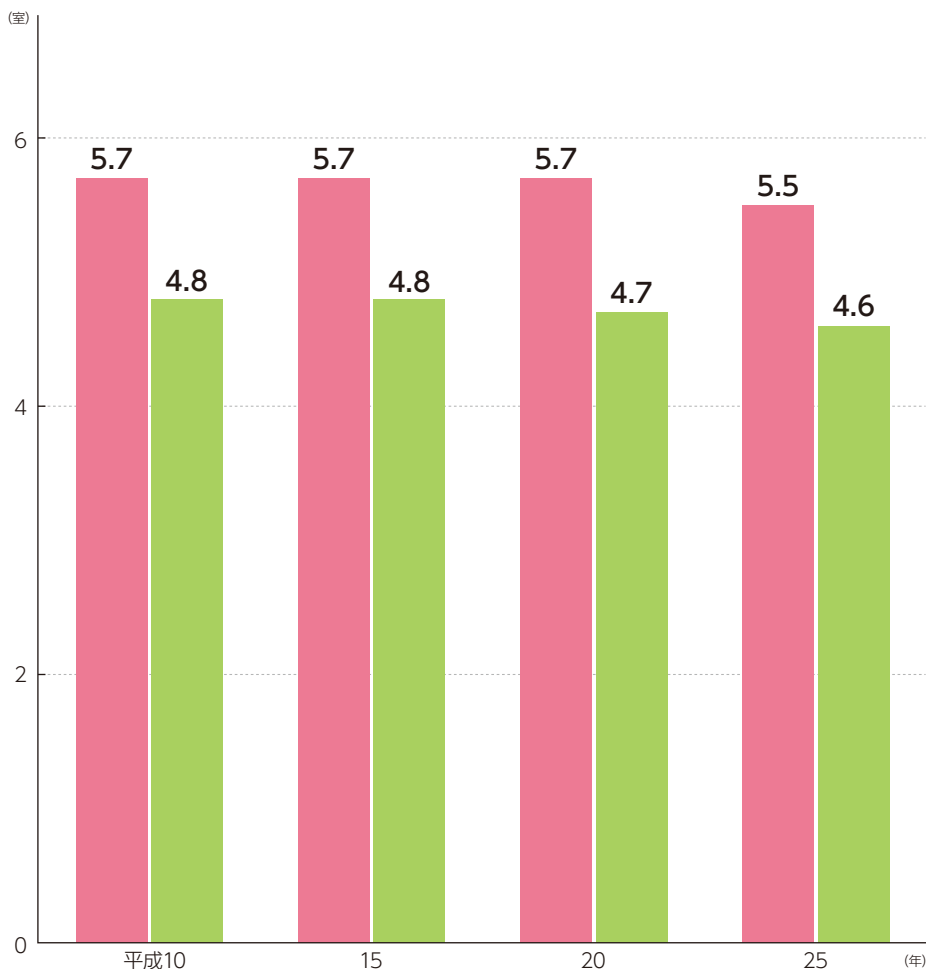
1住宅当たり居住数は全国と比べ、0.9室多い

平成25年の奈良県の1住宅当たり居住室数は5.5室で、全国平均の4.6室より0.9室多くなっています。

1住宅当たり居住室数の推移

資料:総務省統計局「住宅・土地統計調査」

■ 奈良県 ■ 全国平均





1住宅当たり延べ面積(持ち家)

持ち家の1住宅当たり延べ面積は全国と比べ9.7㎡広い

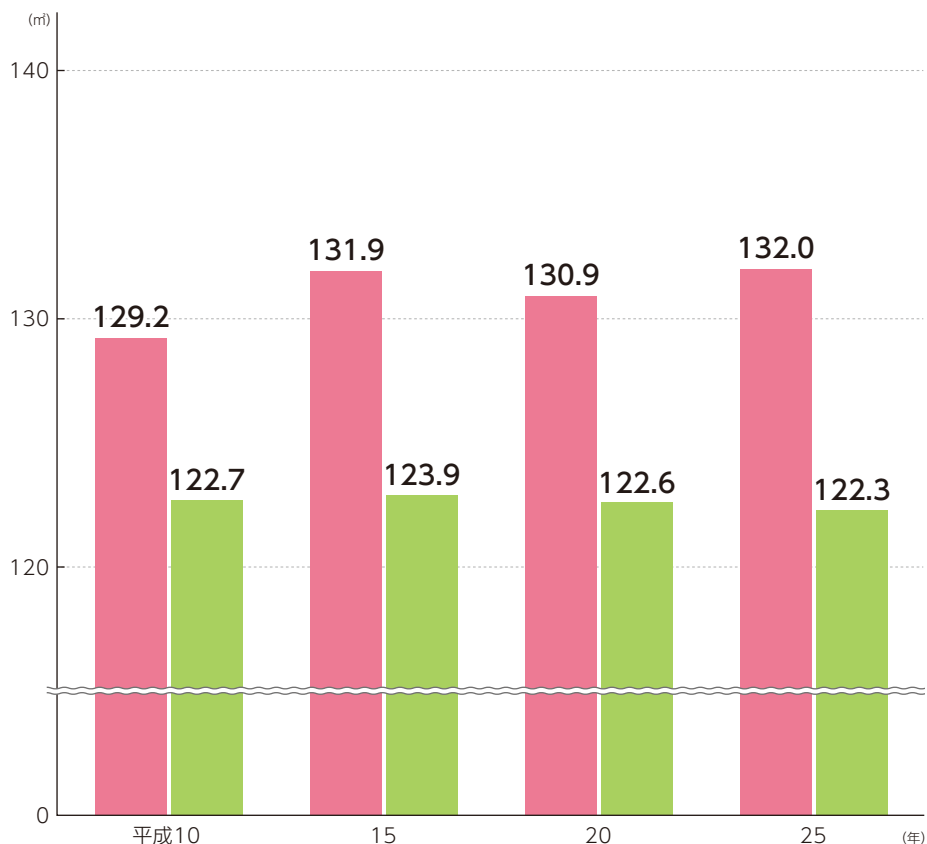
平成25年の奈良県の1住宅当たり延べ面積(持ち家)は132.0㎡で、平成20年の130.9㎡から1.1㎡拡大しており、全国平均の122.3㎡より9.7㎡広がっています。

平成10年から25年までの傾向をみると、全国では平成15年から減少を続けていますが、奈良県では平成25年において最も広い面積となっています。

1住宅当たり延べ面積(持ち家)の推移

資料:総務省統計局「住宅・土地統計調査」

■ 奈良県 ■ 全国平均





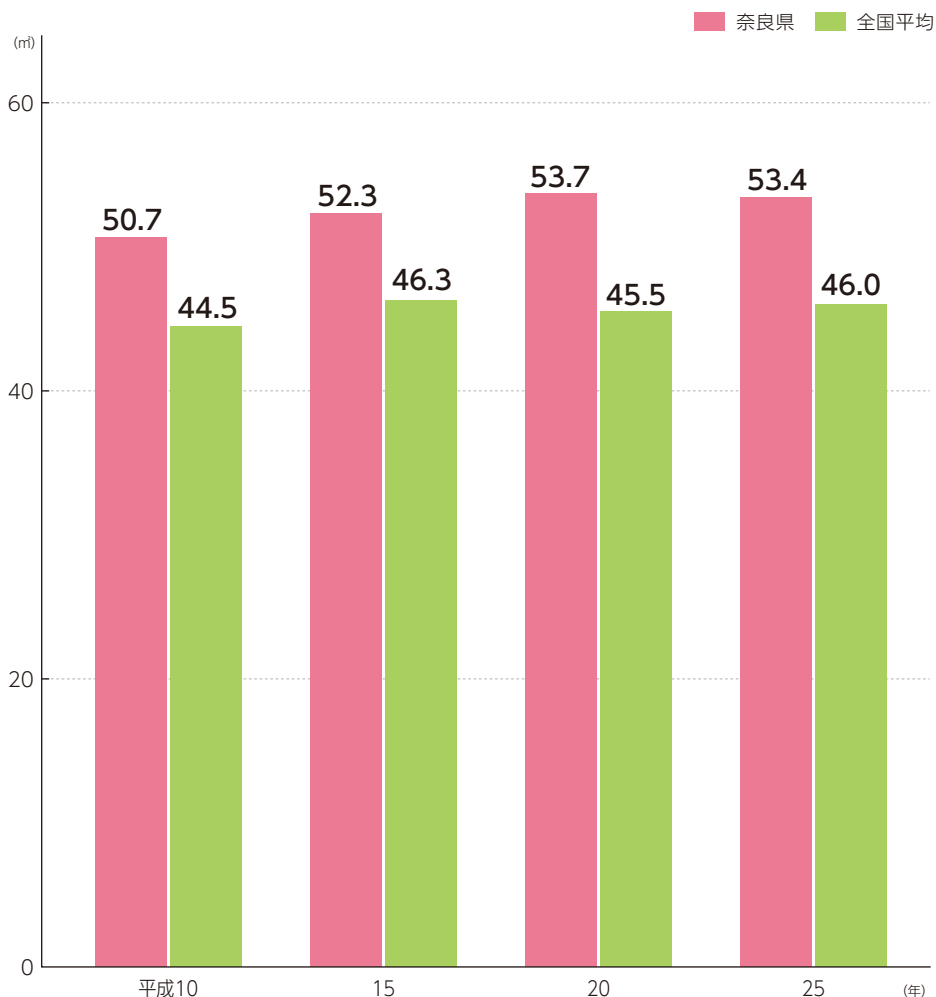
1住宅当たり延べ面積(借家)

借家の1住宅当たり延べ面積は全国と比べ7.4㎡多い

平成25年の奈良県の1住宅当たり延べ面積(借家)は53.4㎡で、平成20年の53.7㎡より0.3㎡減少しましたが、全国平均の46.0㎡より7.4㎡上回っています。

住宅当たり延べ面積(借家)の推移

資料:総務省統計局「住宅・土地統計調査」





着工新設住宅数

着工新設住宅数は前年より減少

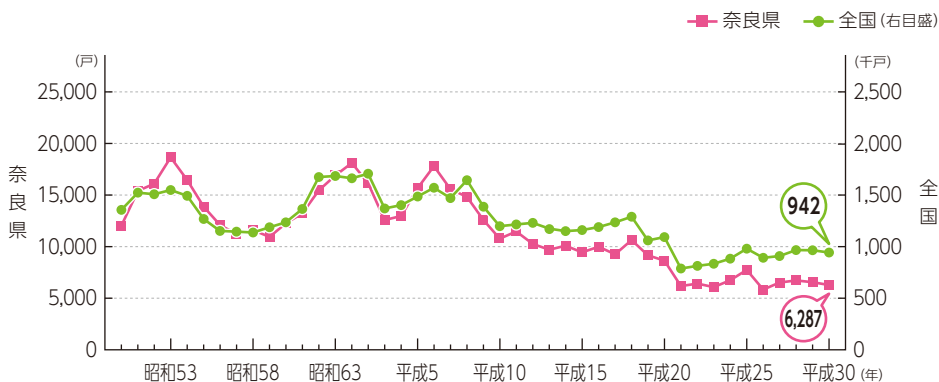
平成30年の新設住宅の着工数は、平成29年に比べ全国で約2万2,000戸減少し、奈良県においても263戸の減少となっております。

また、奈良県の新設住宅木造率は69.0%で、全国平均57.2%に対して11.8ポイント上回っています。

- 新設…住宅の新築(旧敷地以外の敷地への移転を含む。)、増築又は改築によって住宅の戸が新たに造られる工事をいう。(届出義務のない床面積10㎡以下の建築物は除く。)
- 新設木造率…木造住宅(戸数)が新設住宅(戸数)に占める割合

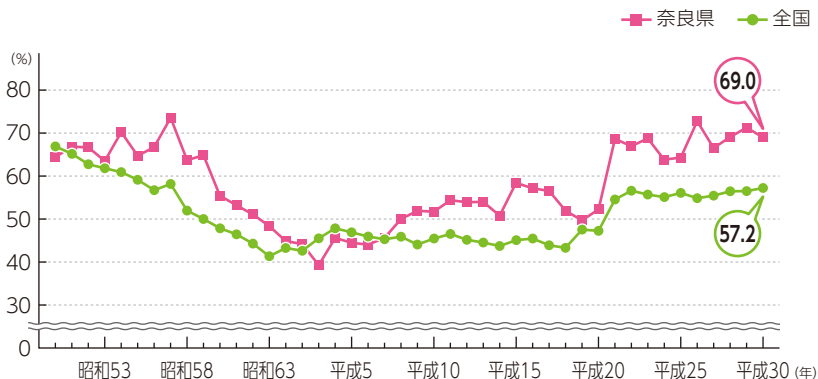
着工新設住宅数の推移

資料:国土交通省「建築着工統計調査」



着工新設住宅数における木造率の推移

資料:国土交通省「建築着工統計調査」





空き家数

空き家数・空き家率ともに減少

全国の空き家総数は、平成25年に819.6万戸と平成20年に比べ約63万戸増加し、空き家率（総住宅数に占める空き家の割合）は13.5%と0.4ポイント上昇し、過去最高を記録しました。

奈良県における空き家数は、平成10年（6.4万戸）、平成15年（7.6万戸）、平成20年（8.6万戸）と増加していましたが、平成25年度の調査では8.5万戸と平成20年に比べ約1.9千戸減少、空き家率は0.9ポイント減少し13.7%となりました。

（注）空き家数とは、賃貸用の住宅・二次的住宅（別荘など）・売却用の住宅・その他の住宅（取り壊し予定の住宅など）から構成されています。

空き家数・空き家率の推移

資料：総務省統計局「住宅・土地統計調査」

■ 空き家数（奈良県） ■ 空き家数（全国） ● 空き家率（奈良県）（右目盛） ■ 空き家率（全国）（右目盛）

